



# ながた典子

NAGATA NORIKO

—KOMEITO—  
公明党 大阪市会レポート  
スマイル通信

2017年夏号  
SMILE COMMUNICATION  
Vol.6



発行者  
ながた典子市政事務所 〒547-0043 大阪市平野区平野東1-8-37 TEL 06-6791-1113 / FAX 06-6791-1116

平素は、多くの皆様の温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。大阪市会議員として皆様に押しあげて頂き、3年目を迎えました。今年は、都市経済委員会 副委員長、市政改革特別委員会の委員として更なる市政の発展、改革に努め「励ましの心・育てる力・安心安全の平野を!」をモットーに皆様お一人、おひとりのお声を市政に届けてまいります。今後とも、更なるご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

大阪市会議員 ながた典子

## 市政改革特別委員会にて

### 市民利用施設のサービス向上における目標のあり方について質疑

**Q** ●市民利用施設において市民・利用者の視点に立ったサービス改善策を検討、実施し、サービスの向上を図ることが掲げられている。

●利用者満足度は、どのような方を対象に調査を行ったのか。また、市民利用施設数についてお聞きする。

**A** ●利用者満足度は、市政モニターへのアンケートを活用している。  
●市政モニターに対し、昨年12月に市政改革についてのアンケートを実施した。このアンケートの中で市民利用施設251施設を対象に満足度調査を実施している。

**Q** ●利用者満足度は、サービス向上に取り組む上で参考として他の指標と合わせて見るのは良いと思うが、市政改革の目標として利用者満足度を用いるのは問題があると思うがどうか。

**A** ●市民利用施設におけるサービス向上は、市民や利用者の視点に立ったサービス改善策の実施によって、より多くの利用者に満足していただける市民利用施設をめざしているものであり、ひいては利用者数の増加や利用率の向上につなげたいと考えている。

●このため、指標として必ずしも課題がないわけではないが、市政モニターを活用し、利用者満足度の向上を目標として掲げているところである。



**Q** ●このプランは市民の方にもその進捗状況がわかるようにすべきである。そのためにも、目標も市民の方に進み具合がわかるようなものにすべきである。

**A** ●サービス向上の取組を進めていくうえで、これまでの方法について整理し、施設の特性やサービス内容を考慮した、利用者にとっても分かりやすい指標となるよう前向きに検討してまいります。

### 平成29年 高校生と市会議員の意見交換会 実行委員として、議場の案内や意見交換を行いました。

活動  
トピックス



## 全小学生に読書ノート／“ママさん党员”の声が形に 大阪市平野区

読書で子どもの心に栄養を一。大阪市平野区は今年4月から、読んだ本のタイトルや感想などを記録する「読書ノート」を区内の児童に配布している。

読書ノートは小学1～4年生用、5～6年生用の2種類。いずれもA5サイズで、50冊分を記録できる。各市立小学校を通じて配布され、区外の私学に通う小学生にも区役所で手渡している。その上で、4年生までは100冊以上、5、6年生は3000ページ以上を読了すると区から表彰される。

区の担当者によると、市内24区では初の取り組み。計1万5000部を作成したが、「非常に好評なため、増刷しないと間に合わない状況」(区まちづくり推進室)だという。

読書ノートを手にした4年生の吉野日和さん(9)は「どれだけ読んだかが分かるので、頑張れる」と笑顔を輝かせた。

好評の読書ノート作成のきっかけをつくったのが、同区北部地域で活動する女性公明党员と永田典子市議でつくる「ハッピースマイルプロジェクトチーム」(山下定代代表)だ。

同チームのメンバーは毎月1回集まり、暮らしの中で寄せられる“ママ友”の声を共有。その声を永田市議だけでなく、行政関係者にも直接届けている。昨年5月に行った稲嶺一夫区長との懇談会では、「豊かな心を育むために読書は大切。子どもたちの意欲が湧く取り組みにもっと力を入れてほしい」と要望。この声をもとに、区役所と各市立小学校、市立平野図書館が連携し、今回の読書ノートの作成に至った。

同チームの活動に対し、稲嶺区長は「役所の机の上だけで考えたものは住民に喜ばれないことが多い。だからこそ、こうした提案は大変ありがたい」と感謝していた。

山下代表は「子どもの成長を願うお母さんたちの思いが一つ、実を結んだ。今後も地域のために地道な活動を続けていきたい」と話していた。



親子と懇談しながら共に読書の楽しさに触れる永田市議(後列中央)



### お知らせ

#### ヘルプマークのストラップを配布しています

ヘルプマークは、内部障がいや難病などにより、外見から分からなくても援助や配慮が必要なことを周囲に知らせるためのものです。このマークを身に着けた方が困っているようであれば、声をかけるなど思いやりのある行動をお願いします。

- 配布場所：区役所保健福祉センター(障がい福祉担当)、福祉局障がい福祉課
- 問合せ：福祉局障がい福祉課  
電話 6208-8072 ファクス 6202-6962



### 励ましの心・育でる力 安心安全の平野を!

ご相談  
お待ちしております!

不在の時間がございますので、  
ご連絡をいただいてから、  
ご来訪いただければ、幸いです。

☎06-6791-1113

